



出雲ブランド商品紹介

IZUMO BRAND

IZUMO BRAND

市では、出雲の認知度やイメージを高めることができる商品を「出雲ブランド商品」として認定しています。企業の想いととも商品の魅力をお伝えします。

長浜中核工業団地に工場のあるサン電子工業株式の「導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサ」(令和2年度認定)をご紹介します。



導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサはどのような製品ですか？

陰極に電解液と電導度の高い導電性高分子(ポリマー)を併用し、ハイブリッド陰極を形成した次世代型アルミ電解コンデンサで、当社が世界で

初めて開発・量産化した製品です。

現在も開発から製造まで出雲工場で行い、世界トップクラスの生産シェアを誇っています。また、業界内でもハイブリッドタイプの性能は広く認知されるようになり、近年、欧州向けを中心に受注数が急増しています。

どのような製品に使われていますか？

身の回りにある電化製品にコンデンサは必ず使用されていますが、当社品が最も多く使われているのは、自動車関連です。エンジンやLEDヘッドライト、安全のための衝突予防システム・アシスト機能などいろいろな箇所で使用されています。また、世界規模でカーボンニュートラルをめざすことで注目されている電気自動車への搭載も始まっています。



サン電子工業株式会社の外観

今後の目標について

今後は市場の拡大が期待される高速・大容量通信の5G基地局や、電子制御化・電動化が進む自動車など、次世代技術製品への採用による更なるシェア拡大をめざします。

6月14日に新棟が完成し、更なる生産増強を計画しています。同時に敷地内のサン電子サッカー場もリニューアルしましたので、市民の皆さまにもたくさん使用していただきたいと思っています。



▲製造作業の様子

詳しくはホームページをご覧ください。



▲出雲ブランド商品ホームページ

出雲ブランド 検索

おたずね/商工振興課
☎21-6541

国際交流のひろば



Olá, pessoas de Izumo!
「出雲の皆さん、こんにちは！」

皆さん、はじめまして。ブラジルから参りましたカナグシク・チアゴと申します。国際交流員として出雲市役所文化国際室で活動させていただくことになりました。

私はサンパウロ市出身ですが、パラナ連邦大学の日本語学科に通うため、クリチバ市に引っ越ししました。当時、ブラジルの多文化に初めて触れました。ブラジルではサンパウロ州にしか住んでいませんでしたが、クリチバ市に引っ越すと、国内でも、方言、料理、人との関係などが変わると気づきました。例えば、キャッサバ芋をサンパウロ市では「マンジョカ」と呼びますが、クリチバ市では「アイピン」と呼びます。

日本に興味を持ったきっかけは、子どもの頃に家族と一緒に日本に住みましたので、日本語を覚える必要がありました。その経験を踏まえ、大学で翻訳と教育に関する活動に参加しました。例えば、パラナ連邦大学の日本語公開講座でインターンシップをしました。

大学3年生になると、東京外国語大学に一年間の留学をすることになりました。日本語を学びつつ、日本の習慣を身につける機会になったので、とても良い経験になりました。

私はブラジルと日本で経験したことや学んだことを生かし、国際交流員として、ブラジルの文化や習慣を伝える懸け橋になります。これからよろしくお願ひします。

熱中症は予防が大事

熱中症に
ご注意ください!



熱中症は健康な人でもかかります。重症になれば死に至ることもあります。
暑さに慣れていない今の時期から熱中症対策が必要です。
熱中症を知って、しっかり対策し、楽しい夏を過ごしましょう。

熱中症予防の7つのポイント

のどがかわいてなくても

水分補給を!

暑さを避けよう

部屋の温度を確認!!

30°C

涼しくして寝よう

マスクの着用にも注意!
マスクを着けることで、知らず知らずのうちに体温調整がしにくい状態となります。
屋外で人との距離が確保できる場合など、マスクを外すことも必要です。

体調に異変を感じた時は早めに休息を

周囲の人にも気配りを

バランスのよい食事で体調をととのえよう

こんなときはすぐ
119番通報!
救急車を呼びましょう!

- 意識がおかしい。
- 自分で水分が取れない。

※お年寄や小さいお子さんは、熱中症にかかりやすく、特に注意が必要です。

おたすね / 出雲市消防本部 警防課 ☎21-6999

となりの

ミコトツキ

第57回

今年もヒナが
7羽も生まれました!

トキは一般的に3月下旬から産卵が始まり、4月下旬からヒナがふ化していき

ます。
出雲市トキ分散飼育センターでは、CLペアとBZペアの2ペアが繁殖に臨んでおり、今年も10個の産卵がありました。

この10個が全て有精卵であることは稀で、普通はいくつかが無精卵であるため、ここから3〜4羽のヒナがふ化すれば御の字というところですが、4月27日にNo.870がふ化したのを皮切りに、大型連休を中心に全部で7羽のヒナがふ化しました。

(生まれたヒナの表ををご覧ください)

特に、CLペアは産卵した6つの卵全てからヒナがふ化し、有精卵率100%でした。



ヒナが7羽は
生まれました!!!



トキは普通、一度に3〜4個の卵を産みますが、CLペアは最初の2個を抱卵しなかつたため、これを飼育員が回収して人工ふ化させました。
その後、産んだ4個の卵も立て続けにふ化したことで、今回の100%という快挙が達成され、想定外のベビータッチに飼育員も驚きました。
ヒナたちは巣の中で親鳥たちからエサをもらいながら元気に育っています。
無事に巣立ちを迎えることができますよう、大事に見守っていきなさいと思います。

No.	ふ化日	親
870	4/27	CL
871	4/29	CL
872	4/29	BZ
873	5/3	CL
876	5/4	CL
879	5/6	CL
881	5/9	CL

おたすね
出雲市朱鷺のまち推進室

☎20-13500